

事業番号	事業名	内容	対象外 項目番号
	都市計画決定事業		
1	都市計画審議会事業	都市計画審議会開催・運営に関する事	②
2	都市計画基礎調査事業	都市計画基礎調査に関する事	①
3	県都市計画実務担当者連絡協議会	幹事町として会議の運営を行う	⑤
	まちづくり推進事業		
4	大磯町まちづくり条例事業	大磯町まちづくり条例の運用を行う	②
5	まちづくり審議会事業	まちづくり審議会の開催・運営に関する事	②
6	住居表示事業	住居表示関連業務全般	①
7	空き家・住環境施策事業	空き家、住環境に関する相談等の対応、空家等対策協議会の開催・運営に関する事、空家等対策計画を策定する	-
8	自転車ネットワーク計画事業	自転車ネットワーク計画の運用を行う	⑥
	開発建築事業		
9	都市計画法第32条同意協議事業	開発行為に対するまちづくり条例に基づく指導調整	-
10	都市計画法第43条申請経由事業	都市計画法に基づく申請の経由事務	①
11	建築確認申請経由事業	建築確認申請の経由事務	①
12	建築協定事業	建築協定に関する事務	-
13	開発事業紛争調停委員会事業	開発紛争調停委員会に関する事務	①
	景観づくり事業		
14	景観施策企画・調整・運用事業	景観施策の企画及び総合調整に関する事	⑥
15	景観重要建造物事業	景観重要建造物の指定に関する事	-
16	景観応援団事業	景観応援団の開催、事務	-
17	歴史的建築物の保存及び活用に関する条例事務	歴史的建築物の保存及び活用に関する条例の運用	-
	耐震改修促進事業		
18	耐震改修補助事業	住宅の耐震診断及び耐震補強工事等の補助に関する事務、ブロック塀の撤去費の補助に関する業務	-
19	建築物震後対策事業	県建築物震後対策会議等の出席	⑥
	都市交通推進事業		
20	都市交通事業	廃止路線のバス運行補助を行う。また、西小磯の一部地区に乗合タクシーの運行委託を行う。	-
21	地域公共交通計画策定	地域公共交通計画策定	⑥
22	地域公共交通会議事業	大磯町地域公共交通会議の開催・運営に関する事	②
	歴史的建造物等維持管理事業		
23	歴史的建造物等整備事業	歴史、文化、生活を現在に伝える歴史的又は文化的価値の象徴となる建造物の保全及び活用を図る	-
	大磯駅前用地維持管理事業		
24	大磯駅前用地維持管理事業	旧駐輪場跡地及びその他用地について、広く一般に開放するため、維持管理を行う	⑤
	大磯駅前広場整備事業		
25	大磯駅前広場整備事業	大磯駅前広場整備計画概略図の作成	②
	公園運営事務事業		
26	都市公園運営事業	公園運営における各種事務処理、会合出席	②
27	公園緑地維持管理事業	既設公園緑地の清掃・除草・清掃ゴミの収集運搬、樹木の剪定、遊具の点検等、公園緑地里親制度事務	-
	運動公園維持管理事業		
28	運動公園維持管理事業	指定管理者制度に基づき大磯運動公園の管理を行う	-
	明治記念大磯邸園維持管理事業		
29	明治記念大磯邸園維持管理事業	明治記念大磯邸園の開園した区域の除草や剪定などの維持管理を行う。	⑤
	花とみどり推進事業		
30	花とみどり推進事業	地域の緑を守り育てる活動を推進し、市街地における緑地を保全する。	-
	みどり基金積立事業		
31	みどり基金積立事業	町に残された自然環境や歴史的環境を保全するとともに、緑化の推進を図る事業の財源とするため、必要な経費を積み立てる	-

事業 番号	事業名	内 容	対象外 項目番号
	森林病害虫等対策自主事業		
32	森林病害虫等対策自主事業	カシノナガキクイムシ虫の防除として、樹幹注入及び松の伐倒	-
33	松くい虫被害対策自主事業	松くい虫の防除として、樹幹注入及び松の伐倒、また。抵抗黒松の苗木配布	-
	運動公園施設改修事業		
34	運動公園高圧ケーブル更新工事事業	運動公園高圧ケーブル更新工事	④
	公園災害復旧事業		
35	公園災害復旧事業	公園施設等が災害により、被害を受けたとき復旧等を行う	③
	その他		
36	課内庶務事業	文書照会回答、課内各種集計等	⑦
37	国土利用計画法事業	国土法届出に関する業務	⑦
38	公有地の拡大の推進に関する法律 業務	公拡法届出に関する業務	⑦
39	社会資本整備総合交付金事業	社会資本整備総合交付金に関する事務	⑦

令和4年度事務事業一覧表

事業番号	事業名	持続可能な開発目標(SDGs)																
		G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	G10	G11	G12	G13	G14	G15	G16	G17
	都市計画決定事業																	
1	都市計画審議会事業											○						○
2	都市計画基礎調査事業											○						○
3	県都市計画実務担当者連絡協議会											○						○
	まちづくり推進事業																	
4	大磯町まちづくり条例事業									○		○						○
5	まちづくり審議会事業									○		○						○
6	住居表示事業											○						
7	空き家、住環境施策事業	○			○				○	○		○	○				○	
8	自転車ネットワーク計画事業											○						
	開発建築事業																	
9	都市計画法第32条同意協議事業											○						○
10	都市計画法第43条申請経由事業											○						
11	建築確認申請経由事業											○						
12	建築協定事業											○						○
13	開発事業紛争調停委員会事業											○						○
	景観づくり事業																	
14	景観施策企画・調整・運用事業											○				○		○
15	景観重要建造物事業											○				○		
16	景観応援団事業											○				○		○
17	歴史的建築物の保存及び活用に関する条例事務											○				○		
	耐震改修促進事業																	
18	耐震改修補助事業											○						
19	建築物震後対策事業											○						○
	都市交通推進事業																	
20	都市交通事業											○						
21	地域公共交通計画策定									○	○		○					○
22	地域公共交通会議事業											○						○
	歴史的建造物等維持管理事業																	
23	歴史的建造物等整備事業											○						
	大磯駅前用地維持管理事業																	
24	大磯駅前用地維持管理事業											○						
	大磯駅前広場整備事業																	
25	大磯駅前広場整備事業				○							○						○
	公園運営事務事業																	
26	都市公園運営事業			○	○				○			○						○
27	公園緑地維持管理事業			○	○							○						
	運動公園維持管理事業																	
28	運動公園維持管理事業			○	○				○			○						○
	明治記念大磯邸園維持管理事業																	
29	明治記念大磯邸園維持管理事業			○	○				○			○						
	花とみどり推進事業																	
30	花とみどり推進事業			○	○				○			○						
	みどり基金積立事業																	
31	みどり基金積立事業											○				○		○

事業 番号	事業名	持続可能な開発目標(SDGs)																
		G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	G10	G11	G12	G13	G14	G15	G16	G17
	森林病虫害等対策自主事業																	
32	森林病虫害等対策自主事業											○					○	
33	松くい虫被害対策自主事業											○					○	
	運動公園施設改修事業																	
34	運動公園高圧ケーブル更新工事業											○					○	
	公園災害復旧事業																	
35	公園災害復旧事業											○					○	
	その他																	
36	課内庶務事業											○						
37	国土利用計画法事業											○					○	
38	公有地の拡大の推進に関する法律 業務											○					○	
39	社会資本整備総合交付金事業			○	○					○		○						○



予算事業名	まちづくり推進事業				事業番号	03 - 12 - 07						
細分事業名	空き家、住環境施策事業				シート作成日	令和4年8月19日						
予算科目	会計	01	款	08	項	04	目	01	事業	03	事業開始年度	平成25年度
											事業終了予定年度	—
部等名				課等名				係名				
都市建設部				都市計画課				開発指導係				

計画 (Plan)	総合計画	P 66	柱	Ⅲ 快適でくらしやすいまちづくり			
			部門	20 住宅・住環境			
			大施策	A 良好な居住空間の形成			
			中施策	(3) 空き家等対策の推進			
			施策目標	空き家の等の適正な管理及び利活用の促進			
	事業の概要		根拠法令・条例等	空家等対策の推進に関する特別措置法			
			個別計画等	大磯町空家等対策計画			
			行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—
			目的 (何のために)	適切な管理が行われていない空家等が防災、衛生、景観等の地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしており、地域住民の生命・身体・財産の保護、生活環境の保全、空き家等の活用のため			
			対象 (誰を・何を)	空き家の所有者、利活用希望者、事業者等、新たな空き家対策の担い手や連携体制			
		内容	空き家に関する協定団体や神奈川県居住支援協議会の知識や経験を生かして、空き家の予防・管理・利活用を促進する。				

実施 (Do)	執行体制		その他					
	事業費	直接事業費 (a)	単位	R01年度 (決算)	R02年度 (決算)	R03年度 (決算見込)	R04年度 (予算)	
		財源内訳	千円	36	167	2,182	206	
			国庫支出金	千円				
			県支出金				1,513	
			起債					
			その他					
	一般財源	36	167		669	206		
	職員人数 (概算職員数)	人	0.57	0.76	0.76	0.85		
	人件費計 (b)	千円	3,357	4,235	4,218	4,701		
総事業費 (a) + (b)	千円	3,393	4,402	6,400	4,907			
事業費内訳 (千円) R 04 年度		報酬157千円、報償費10千円、旅費18千円、役務費10千円、負担金補助及び交付金11千円						
指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名			目標値		
			空き家バンクの登録・活用件数			10件以上		
	指標名		単位	項目	R02年度 (決算)	R03年度 (決算見込)	R04年度 (予算)	R07年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	空き家に関する相談受付件数	件	—	126	155	—	—
	活動指標 (活動量)	空き家に関する広報・印刷物などの周知活動や実態把握など	回	計画値	5	6	8	8
				実績値	9	8	—	—
成果指標 (達成度等)	空き家物件新規登録数	件	目標値	1	1	10	10	
			実績値	1	5	—	—	
			達成率	100.0%	500.0%	—	—	
定性的成果		—						

評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	③ 増大している		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	② 廃止・休止による影響は小さいがある		
		今後も町が実施すべき事業か	④ 町民生活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可能		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	② 事業の方向性は適切であるが、手法は見直す余地がある		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-③ 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない	
		過去の外部評価等における指摘事項	-		
	主な改善経過 (過去4年間)	H30 プランニングノートの配布、区長会によるマッピングの実施、地域会館での周知活動 R01 講演会の開催、インターンシップの受入れ、空き家情報のデジタル化 R02 空き家対策協議会の設置、区長会による空き家マッピング調査の実施、空き家バンクの運用・マッチング、広報や地域ケア会議（高齢者支援）での周知活動 R03 空家等対策計画の策定、空き家情報システムによる空き家情報の収集、所有者への意識調査 空き家利活用無料相談会			
課題	空き家情報のデータベース化、空き家の所有者、利活用希望者、事業者を結ぶ新たな担い手の確保				

改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	拡充	R03年度	拡充	R02年度	拡充	R01年度	拡充	
	理由	空家等に対する適切な管理と予防の推進を図り、利活用可能な空き家については空き家バンク等への登録、利活用希望者へのマッチングを促し、良好な住環境の維持及び地域の活性化へつなげていく。								
	課題解決に向けて着手する取組事項	R04年度	空き家の予防・管理・活用のための施策を展開する。（空き家予防セミナー、相談会等の開催） 空き家に関する主体間の連携の仕組みや組織を立ち上げ等の検討を行う。							
		R05年度	空き家の予防・管理・活用のための施策を展開する。（空き家予防セミナー、相談会等の開催） 空き家に関する主体間の連携の仕組みや組織を立ち上げ運用を行う。							
	R04年度改善事項	空き家活用相談会の開催及び空き家バンク物件登録の個別勧奨等を行い登録促進を図った。 官民連携による空き家予防に関する冊子を作成した（無料で作成） 空き家台帳データの更新を行った。								
	記入日									
	令和5年3月20日									

予算事業名	耐震改修促進事業							事業番号	03 - 12 - 18			
細分事業名	耐震改修補助事業							シート作成日	令和4年8月19日			
予算科目	会計	01	款	08	項	04	目	01	事業	06	事業開始年度	平成18年度
												事業終了予定年度
部等名				課等名				係名				
都市建設部				都市計画課				開発指導係				

計画 (Plan)	総合計画	P 66	柱	Ⅲ 快適でくらしやすいまちづくり								
			部門	20 住宅・住環境								
			大施策	A 良好な居住空間の形成								
			中施策	(2) 都市防災機能の整備								
			施策目標	誰もが安心して生活することができる災害に強いまちづくりを推進します。								
	事業の概要			根拠法令・条例等	建築物の耐震改修の促進に関する法律、大磯町住宅耐震化補助金交付要綱、大磯町危険ブロック塀撤去等補助金交付要綱							
				個別計画等	まちづくり基本計画、耐震改修促進計画							
				行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—			実施項目名	—		
				目的 (何のために)	地震時の住宅の倒壊等による人的被害の軽減を図るため							
				対象 (誰を・何を)	昭和56年5月31日以前に建築確認済証を取得した住宅							
			内容	耐震診断、耐震補強設計、工事監理、耐震補強工事を推進するため、その経費の一部を補助する。								

実施 (Do)	執行体制		その他					
	事業費	直接事業費 (a)	単位	R01年度 (決算)	R02年度 (決算)	R03年度 (決算見込)	R04年度 (予算)	
		財源内訳	千円	1,363	1,063	1,237	2,553	
			国庫支出金	千円	475	403	508	1,222
			県支出金	千円	381	309	315	536
			起債	千円				
			その他	千円				
	一般財源	千円	509	351	414	795		
	職員人数 (概算職員数)	人	0.21	0.28	0.28	0.44		
	人件費計 (b)	千円	1,112	1,502	1,492	2,408		
総事業費 (a) + (b)	千円	2,475	2,565	2,729	4,961			
事業費内訳 (千円) R 04 年度		報償費46千円、負担金、補助金及び交付金2,507千円						
指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名			目標値		
			住宅の耐震化率			90%		
	指標名		単位	項目	R02年度 (決算)	R03年度 (決算見込)	R04年度 (予算)	R07年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	耐震性のない住宅総数	戸	—	3,783	3,661	—	—
	活動指標 (活動量)	普及啓発件数	件	計画値	6	2	7	—
				実績値	—	7	—	—
成果指標 (達成度等)	耐震化率	%	目標値	76.84	78.91	81.89	—	
			実績値	74.02	74.92	—	—	
			達成率	96.3%	94.9%	—	—	
定性的成果		—						



評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	③ 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	A. 負担導入済	A-② 適正な受益者負担を導入している	
	過去の外部評価等における指摘事項	H24年 B評価 耐震改修促進計画の目標とする耐震化率に達するためには、更なる啓発が必要となる。			
主な改善経過 (過去4年間)	H30 所有者の負担軽減のため、補助金の委任払制度を開始した。 R01 耐震診断を利用しやすくするため、補助率を引き上げた。 R02 個別の住宅耐震相談会を実施した。 R03 個別の住宅耐震相談会を実施した。				
課題	耐震診断等に対し、補助額に上限があるため、一部自己負担が必要になる。近隣市町村の補助要件なども参考に、補助要件や上限額を見直して補助金の活用を推進する必要がある。				

改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	<b>維持</b>	R03年度	縮小	R02年度	縮小	R01年度	縮小
		理由	旧耐震基準の家屋の老朽化が進んでいるため、経費を掛けて家屋の耐震化を進めたいと希望する所有者は少ない。						
	課題解決に向けて着手する取組事項	R04年度	空き家(旧耐震)の3,000万円控除制度を周知し、家屋の耐震化や除却を促進する。耐震補助制度に限らず耐震相談会を開催することによって、建築物の安全性に対する住民の不安や疑問に対応することにより、災害に強いまちづくりへの理解を深める。						
R05年度		空き家(旧耐震)の3,000万円控除制度を周知し、家屋の耐震化や除却を促進する。耐震補助制度に限らず耐震相談会を開催することによって、建築物の安全性に対する住民の不安や疑問に対応することにより、災害に強いまちづくりへの理解を深める。							
R04年度改善事項	耐震促進事業の周知のため、広報やホームページ等への掲載のほか、チラシを作成し納税通知へ同封した。								
記入日	耐震相談会(事前予約制)を実施した。								
令和5年3月20日									

予算事業名	都市交通推進事業						事業番号	03 - 12 - 20		
細分事業名	都市交通事業						シート作成日	令和4年8月16日		
予算科目	会計	01	款	08	項	04	目	02	事業開始年度	平成18年度
									事業終了予定年度	
部等名			課等名				係名			
都市建設部			都市計画課				都市計画係			

計画 (Plan)	総合計画	P 82	柱	V 元氣や活力が生まれるまちづくり							
			部門	28 道路・交通							
			大施策	B 快適な交通サービスの形成							
			中施策	(1) 地域公共交通の充実							
			施策目標	町民と協同し、多様化するニーズに応じた新たな公共交通の導入を図ります。							
	根拠法令・条例等			—							
	個別計画等			大磯町地域公共交通総合連携計画							
	行政経営プラン 実施計画事業			実施番号	—			実施項目名	—		
	目的 (何のために)			①路線バスの撤退が示された富士見地区(虫窪・黒岩・西久保地区)の公共交通の確保 ②公共交通の利用が不便な生活交通空白地域への新たな公共交通導入の検討							
	対象 (誰を・何を)			①虫窪・黒岩・西久保地区住民及び同地区を目的とする者 ②西小磯の一部地区							
内容			①富士見地区の路線バスの撤退申出を受け、撤退した路線バスの運賃を補助することで二宮駅-富士見地区間を中心とした路線バス運行事業者による運行を開始 ②地域住民有志団体「西小磯東地区地域交通推進の会」とともに検討を行い、当該地区に最も適した公共交通として乗合タクシーの運行を開始								

実施 (Do)	執行体制							
	事業費	直接事業費(a)	単位	R01年度(決算)	R02年度(決算)	R03年度(決算見込)	R04年度(予算)	
		財源内訳	国庫支出金	千円	21,220	24,769	24,503	19,855
			県支出金					
			起債	千円				
			その他		107	104	406	
			一般財源		21,113	24,665	24,097	19,855
	職員人数(概算職員数)	人	0.17	0.25	0.33	0.26		
	人件費計(b)	千円	978	986	1,294	1,063		
	総事業費(a)+(b)	千円	22,198	25,755	25,797	20,918		
事業費内訳(千円) R 04 年度	会議報酬98千円、旅費9千円、乗合タクシー運行委託1,350千円、調査委託918千円、生活交通確保対策推進事業補助金17,470千円、自転車推進会費10千円							

指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名				目標値	
			新たな公共交通サービスの導入				2件	
	指標名		単位	項目	R02年度(決算)	R03年度(決算見込)	R04年度(予算)	R07年度(目標)
	対象指標(対象者数等)	交通空白地居住者(富士見地区+乗合タクシー登録者)	人	—	900	970	970	1,000
	活動指標(活動量)	乗車人数(年)(補助路線バス+乗合タクシー)	件	計画値	27,000	27,000	27,000	27,000
				実績値	18,891	19,372	—	—
	成果指標(達成度等)	新たな公共交通サービスの導入		目標値	2	2	2	2
実績値				1	1	—	—	
達成率				50.0%	50.0%	—	—	
定性的成果								

評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	④ 町民生活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可能		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	① ある		
		関連・類似事業との統合はできないか	② 統合に向けた検討は可能		
	有効性	事業の成果は得られているか	② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である		
事業の上位施策に向けた貢献度は大きい		② 事業の方向性は適切であるが、手法は見直す余地がある			
公平性	受益者負担は公平・公正か	A. 負担導入済	A-① 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある		
	過去の外部評価等における指摘事項	—			
	主な改善経過 (過去4年間)	H29 乗合タクシーの本格運行開始。 H30 乗合タクシー本格運行2年目(利用者の増加) R01 乗合タクシー本格運行3年目(運行日数の減少を踏まえると前年度と同程度の効果) R02 乗合タクシー本格運行4年目(コロナ禍により、利用便数、利用者数の減少) R03 乗合タクシー本格運行5年目(前年度より、利用便数、利用者数の増加)			
	課題	地域交通の一定のセーフティーネットとしての役割を果たしているが、コスト高ではないかとの指摘も受けていることから、少しでも町の財政負担を減らす取組みを行う必要がある。			

改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	維持	R03年度	維持	R02年度	維持	R01年度	維持
		理由	路線バス撤退地域や生活交通空白地域への交通手段として、限られた便数の中で、地域の児童、生徒の登下校、買物や通院など当初意図していた利用がなされており、交通セーフティーネットとしての役割を果たしている。						
	課題解決に向けて着手する取組事項	R04年度	町内全域に交通アンケート調査を行う。それらの結果を踏まえ、補助路線バス、デマンドタクシーの運行検証を行う。						
		R05年度	令和2年11月の「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律等の一部を改正する法律(以下、「活性化推進法」という。))が施行され、「地域公共交通計画」の作成が努力義務化され、移動可能性を維持・向上する交通サービスの拡充に向け、法定計画となる「(仮称)大磯町地域公共交通計画」を策定する。						
	R04年度改善事項	「大磯町地域公共交通計画(令和5年度作成予定)」を策定するための基礎資料とするため、アンケートによる「誰もが快適に移動できる公共交通ネットワークの形成」に関する町民意識調査を実施した。調査結果の分析により、次期計画策定に必要な基礎資料となる現状の課題やニーズの把握を行い、それらを取りまとめた調査報告書を作成した。							
	記入日	令和5年3月20日							

予算事業名	歴史的建造物等維持管理事業							事業番号	03 - 12 - 23			
細分事業名	歴史的建造物等維持管理事業							シート作成日	令和4年8月19日			
予算科目	会計	01	款	08	項	04	目	01	事業	08	事業開始年度	平成26年度
												事業終了予定年度
部等名				課等名				係名				
都市建設部				都市計画課				開発指導係				

計画 (Plan)	総合計画	P 68	柱	Ⅲ 快適でくらしやすいまちづくり								
			部門	21 景観形成								
			大施策	A 地域特性を生かした景観形成								
			中施策	(3) 歴史的建造物などの保存と活用								
			施策目標	歴史的または文化的価値の象徴となる建造物等の保全及び活用を図ります。								
	事業の概要			根拠法令・条例等	大磯町邸園文化交流事業補助金交付要綱							
				個別計画等	-							
				行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	-		実施項目名	-			
				目的 (何のために)	歴史的または文化的価値の象徴となる建造物等の保全及び活用を図る。							
				対象 (誰を・何を)	歴史的建造物及びその所有者・活用者等							
			内容	町所有の国登録有形文化財（建造物）の維持管理と町内の歴史的建造物の周知・活用活動に対し補助金を交付する。								

実施 (Do)	執行体制		一部委託あり					
	事業費	直接事業費 (a)	単位	R01年度 (決算)	R02年度 (決算)	R03年度 (決算見込)	R04年度 (予算)	
		財源内訳	千円	2,740	6,946	6,430	7,273	
			国庫支出金	千円				
			県支出金					
			起債					
			その他					
	一般財源	2,740	6,946		6,430	7,273		
	職員人数 (概算職員数)		人	0.21	0.34	0.30	0.45	
	人件費計 (b)		千円	1,141	1,845	1,607	2,655	
総事業費 (a) + (b)		千円	3,881	8,791	8,037	9,928		
事業費内訳 (千円) R 04 年度		報酬32千円、旅費6千円、需用費660千円、役務費418千円、委託料154千円、工事請負費3,700千円、負担金補助及び交付金600千円、積立金1,703千円						
指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名			目標値		
			景観重要建造物の指定数			6件		
	指標名		単位	項目	R02年度 (決算)	R03年度 (決算見込)	R04年度 (予算)	R07年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	景観重要建造物の指定数	件	-	3	3	3	6
	活動指標 (活動量)	歴史的建造物を活用した邸園文化交流圏大磯等の事業の開催	件	計画値	-	6	5	4
				実績値	-	4	-	-
	成果指標 (達成度等)	建物語の発行	件	目標値	1冊	1冊	1冊	1冊
実績値				1冊	-	-	-	
達成率				-	-	-	-	
定性的成果		-						

評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	③ 増大している		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	④ 町民生活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可能		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	③ 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-③ 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない	
		過去の外部評価等における指摘事項	—		
	主な改善経過(過去4年間)	H30(一般公開) 明治記念大磯邸園、安田善次郎邸 (冊子) 建物語(明治記念大磯邸園/改訂) R01(一般公開) 明治記念大磯邸園、安田善次郎邸、旧吉田茂邸(冊子) 建物語(安田善次郎邸) R02(一般公開) 明治記念大磯邸園、旧吉田茂邸 (冊子) 建物語(旧吉田茂邸) R03(一般公開) 明治記念大磯邸園、旧吉田茂邸 (冊子) 建物語(旧吉田茂邸/増刷)			
	課題	景観や観光資源・郷土資料として貴重な歴史的な建造物について、民間所有者や団体の協力を得ながら、保存活用を検討する必要がある。			

改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	維持	R03年度	維持	R02年度	維持	R01年度	維持	
		理由	町内に現存する歴史的建造物並びに邸宅及び庭園(以下これらを「邸園」という。)の魅力を広く発信し、本町に訪れる観光客の増加を目指すとともに、郷土の歴史・文化を次代に引き継ぐため歴史的建造物に関する冊子の作成を支援する。							
	課題解決に向けて着手する取組事項	R04年度	歴史的建造物活用観光事業の支援及び歴史的建造物紹介冊子(建物語)の作成を支援する。経年劣化している大磯駅前洋館の修繕を行う。賃貸借期間の満了にあたり、賃料の見直しを行い、新たな活用事業者を募集・選定する。							
		R05年度	歴史的建造物活用観光事業の支援及び歴史的建造物紹介冊子(建物語)の作成を支援する。経年劣化している大磯駅前洋館の建物調査を行い、新たな活用事業者と修繕等の協議を行う。							
	R04年度改善事項	賃貸借期間満了(H29.8.1~R5.7.31)にあたり、賃料並びに契約内容の見直しを行い、新たな活用事業者の募集・選定を行った。歴史的建造物を活用した邸園文化交流事業(大磯邸園フォーラム及びガイドツアー、大磯建物語の作成)への支援を行った。								
	記入日	老朽化し建物並びに設備等の修繕を行った。								
	令和5年3月20日									

予算事業名	公園運営事務事業				事業番号	03 - 12 - 27						
細分事業名	公園緑地維持管理事業				シート作成日	令和4年8月18日						
予算科目	会計	01	款	08	項	04	目	02	事業	01	事業開始年度	—
											事業終了予定年度	—
部等名				課等名				係名				
都市建設部				都市計画課				都市計画係				

計画 (Plan)	総合計画	柱	Ⅲ 快適でくらしやすいまちづくり		
		部門	15 自然環境・公園		
		大施策	B 緑化の推進		
		中施策	(1) 緑地の保全・再生		
		施策目標	市街地における緑地を保全・再生し、地域の緑を守り育てる活動を推進します。		
	事業の概要	根拠法令・条例等	都市公園法、町都市公園条例		
	個別計画等	大磯町みどりの基本計画			
	行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—
	目的 (何のために)	町民のレクリエーション、健康増進及び福祉の向上の場として公園の利用促進を図るとともに、自然景観を維持するため、緑地の維持管理を実施			
	対象 (誰を・何を)	町内の都市公園・緑地（公園：43箇所、都市緑地：6箇所）			
内容	既設公園・緑地の清掃、除草、清掃ゴミの収集運搬、樹木剪定、遊具点検、修繕等を実施するとともに、公園利用者からの要望や意見に対する対応を行っている。				

実施 (Do)	執行体制		一部委託あり					
	事業費	直接事業費 (a)	単位	R01年度 (決算)	R02年度 (決算)	R03年度 (決算見込)	R04年度 (予算)	
		財源内訳	千円	23,130	24,643	25,636	30,575	
			国庫支出金	千円				
			県支出金					
			起債					
			その他					
	一般財源	23,130	24,643		25,636	30,575		
	職員人数 (概算職員数)	人	0.24	0.33	0.39	0.48		
	人件費計 (b)	千円	1,414	1,949	2,302	2,832		
総事業費 (a) + (b)	千円	24,544	26,592	27,938	33,407			
事業費内訳 (千円) R 04 年度	旅費：11千円、需要費：5,415千円、役務費：295千円、委託料：22,683千円、用地借上料：1,936千円、負担金及び助成金：230千円、自動車重量税：5千円							
指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名			目標値		
			一人当たりの施設緑地面積			61.92㎡/人		
	指標名		単位	項目	R02年度 (決算)	R03年度 (決算見込)	R04年度 (予算)	R07年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	都市公園数 (都市緑地含)	箇所	—	54	55	55	55
	活動指標 (活動量)	公園緑地アダプト制度及び花いっぱい運動の登録数	件	計画値	10	10	11	12
				実績値	11	10	—	—
成果指標 (達成度等)	一人当たりの施設緑地面積	㎡/人	目標値	57.62	61.92	61.92	61.92	
			実績値	57.62	57.62	—	—	
			達成率	100.0%	93.1%	—	—	
定性的成果	—							



評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	③ 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-② 受益者はいるが、今後も公費により全額町が負担すべきものである	
	過去の外部評価等における指摘事項		—		
主な改善経過 (過去4年間)		定例的な既設公園・緑地の樹木等施設管理以外に、個別で樹木剪定を行い施設の適正管理を図っている。また、遊具に関しても法定点検の結果を踏まえ、適切に修繕等を実施している。			
課題 (事務の効率化)		公園施設が老朽化している。また、公園利用者ニーズの変化も併せて見極めつつ、計画的な施設更新または機能維持を行う必要がある。			

改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	維持	R03年度	維持	R02年度	維持	R01年度	維持	
		理由	町民の都市公園等利用の安全、安心に資するため、引き続き適正な管理、運営を行う。							
	課題解決に向けて着手する取組事項	R04年度	前年度に引き続き、安全、安心な公園運営を行うため、遊具を含む公園施設の点検・修繕や、樹木剪定・清掃等を着実に実施する。							
		R05年度	引き続き遊具の点検を実施し、さらに経年劣化による遊具以外の公園全体の施設の管理に努める。							
	R04年度改善事項	安全・安心な都市公園環境を整備するため、令和3年度の遊具安全点検結果を踏まえ、既設遊具の修繕及び撤去を実施した。また、要望のあった公園について、古くなった公園設備の撤去及び新設を行った。 ・なかまる公園で遊具の入れ替え工事等 「持続可能な地域の森の育て方」講習会（日常入門編）を行った。（講師：高田宏臣氏、場所：高来神社参道脇及び境内の緑地、実習形式）								
	記入日									
	令和5年3月20日									

予算事業名	運動公園維持管理事業							事業番号	03 - 12 - 28			
細分事業名	運動公園維持管理事業							シート作成日	令和4年8月8日			
予算科目	会計	01	款	08	項	04	目	02	事業	02	事業開始年度	平成18年度
											事業終了予定年度	
部等名				課等名				係名				
都市建設部				都市計画課				都市計画係				

計画 (Plan)	総合計画	P 56	柱	Ⅲ 快適でくらしやすいまちづくり							
			部門	15 自然環境・公園							
			大施策	C 特色ある公園づくり							
			中施策	(1) 公園づくり・管理運営							
			施策目標	町民意向を反映し、町民参加による公園づくりを推進します。							
	事業の概要	根拠法令・条例等		都市公園法、町都市公園条例							
	個別計画等		大磯運動公園施設長寿命化計画								
	行政経営プラン 実施計画事業		実施番号	—			実施項目名	—			
	目的 (何のために)		町民のレクリエーション、健康増進及び福祉の向上の場として利用増進を図るため								
	対象 (誰を・何を)		大磯運動公園（野球場、多目的広場、テニスコート4面等）								
内容		町都市公園条例に基づき、指定管理者を指定し、運動公園の運営管理や自主事業の開催、公園施設の維持管理業務などを行っている。									

実施 (Do)	執行体制							
	事業費	直接事業費 (a)	単位	R01年度 (決算)	R02年度 (決算)	R03年度 (決算見込)	R04年度 (予算)	
		財源内訳	千円	21,605	26,199	30,513	33,929	
			国庫支出金	千円				
			県支出金					
			起債					
			その他					
	一般財源	21,605	26,199		30,513	23,633		
	職員人数 (概算職員数)	人	0.24	0.50	0.55	0.41		
	人件費計 (b)	千円	1,414	1,972	2,266	1,790		
総事業費 (a) + (b)	千円	23,019	28,171	32,779	35,719			
事業費内訳 (千円) R 04 年度	修繕料：600千円、通信運搬費：118千円、自動車損害保険料：30千円、管理委託料：22,275千円、物品借上料：610千円 工事請負費10,296千円							
指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名			目標値		
			運動公園施設利用者数			15万人以上		
	指標名		単位	項目	R02年度 (決算)	R03年度 (決算見込)	R04年度 (予算)	R07年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	有料施設の登録団体数	人	—	2,900	3,000	3,400	3,800
	活動指標 (活動量)	自主事業のメニュー数	件	計画値	21	23	24	25
				実績値	11	11	19	—
成果指標 (達成度等)	有料施設の利用人数	人	目標値	67,000	67,000	67,000	67,000	
			実績値	90,811	136,000	—	—	
			達成率	135.5%	203.0%	—	—	
定性的成果								



評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	③ 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	A. 負担導入済	A-② 適正な受益者負担を導入している	
		過去の外部評価等における指摘事項	—		
	主な改善経過 (過去4年間)	H30 指定管理者自主事業数16項目→18項目 R01 指定管理者自主事業数22項目→22項目 R02 指定管理者自主事業数21項目→11項目 R03 指定管理者自主事業数23項目→11項目			
	課題	魅力ある自主事業の実施などにより、さらなる利用者の拡大に取り組む必要がある。			

改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	<b>維持</b>	R03年度	維持	R02年度	維持	R01年度	維持	
		理由	利用者増に資するため、引き続き適正な管理、運営を行う。							
	課題解決に向けて着手する取組事項	R04年度	大磯運動公園の管理棟事務所空調機器（室外機）及び、加圧給水ポンプ分解整備を行った。また経年劣化が著しい幹線ケーブルの交換をする。							
		R05年度	保守委託業務及び日常点検の結果に基づき改修の必要性が高い施設から順次改修を行う。							
	R04年度改善事項	大磯運動公園の管理棟事務所空調機器（室外機）及び、加圧給水ポンプ分解整備を行った。また経年劣化が著しい幹線ケーブルの交換を行った。ソフト面においては感染症対策を行った上で自主事業を19まで復活させ、町のスポーツ行事に対しても特段の労務協力をい盛り上げを図った。								
	記入日	令和5年3月20日								

予算事業名	花とみどり推進事業				事業番号	03 - 12 - 30					
細分事業名	花とみどり推進事業				シート作成日	令和4年8月19日					
予算科目	会計	01	款	08	項	04	目	02	事業	05	
	事業開始年度										平成18年度
事業終了予定年度										—	
部等名				課等名				係名			
都市建設部				都市計画課				都市計画係			

計画 (Plan)	総合計画	柱	Ⅲ 快適でくらしやすいまちづくり			
		部門	21 景観形成			
		大施策	A 地域特性を生かした景観形成			
		中施策	(1) 自然風景の保全と創出 / (2) 良好な町並みの保全と創出			
		施策目標	山並みや海、町並みなどの豊かな風景を守り、育み、創ります。 / 住宅地の町並みや緑などの豊かな風景を守り、育み、創ります。			
	根拠法令・条例等		大磯町いけがき設置奨励事業補助金交付要綱、大磯町シンボルツリー奨励事業補助金交付要綱 大磯町花いっぱい運動推進要綱、大磯町保存樹木等助成金交付要綱			
	個別計画等		大磯町緑の基本計画			
	行政経営プラン 実施計画事業		実施番号	—	実施項目名	—
	目的 (何のために)		いけがき設置やシンボルツリー植栽による敷地内緑化による良好な景観形成の推進 町民等によるボランティア団体が主体となって、花や緑の植栽の維持管理等の活動に参加することにより、花に親しむ機会を拡大するとともに、心のやすらぎと美化意識の高揚を図るために行う大磯町花いっぱい運動の推進 ・ 保存樹木等保全に関する経費の助成			
	対象 (誰を・何を)		いけがき設置、シンボルツリー植栽、保存樹木等の保全及び花いっぱい運動に要する経費			
内容		敷地内に植栽するシンボルツリーに関する費用の助成 敷地外構にいけがきを設置するために要する経費の助成 ボランティア団体による花いっぱい運動に要する経費の助成 保存樹木等の保全に関する経費の助成				

実施 (Do)	執行体制		職員実施					
	事業費	直接事業費 (a)	千円	932	476	412	845	
		財源内訳	国庫支出金	千円				
			県支出金					
			起債					
			その他					
	一般財源		932	476	412	845		
	職員人数 (概算職員数)	人	0.18	0.28	0.30	0.30		
	人件費計 (b)	千円	1,016	1,016	1,771	1,770		
	総事業費 (a) + (b)	千円	1,948	1,492	2,183	2,615		
事業費内訳 (千円) R 04 年度	旅費4千円、消耗品費200千円、傷害保険料28千円、かながわトラスト負担金30千円、いけがき設置奨励事業費補助金90千円、シンボルツリー奨励事業補助金100千円、花いっぱい運動事業交付金195千円、保存樹木198千円							

指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名				目標値	
			保存樹木の指定本数 いけがき設置奨励助成の総延長				18本 1,000m	
	指標名		単位	項目	R02年度 (決算)	R03年度 (決算見込)	R04年度 (予算)	R08年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	施設緑地量	ha	—	180	180	180	180
					活動指標 (活動量)	保存樹木の指定本数	本	計画値
	成果指標 (達成度等)	いけがき設置奨励助成の総延長	m	実績値	13			14
				目標値	1,000	1,000	1,000	1,000
				実績値	846	846	—	—
	定性的成果		—					

評価 (Check)

妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
	事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	② 廃止・休止による影響は小さいがある		
	今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
	関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
有効性	事業の成果は得られているか	② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である		
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	③ 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している		
公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-① 今は受益者負担を求めているが、今後、負担の導入を検討する必要がある	
過去の外部評価等における指摘事項	—			
主な改善経過 (過去4年間)	花いっぱい運動、公園・緑地里親制度で、活動団体の自主的な運動を推進するため、従来の花苗の支給から、交付金の支給に切り替え、団体の自主性の拡大を図っている。			
課題	活動のボランティア団体数が伸び悩んでいる現状がある。広報・ホームページ等での普及、啓発をさらに進めていく。			

改善 (Action)

今後の方向性の判断	区分	拡充	R03年度	拡充	R02年度	拡充	R01年度	拡充	
	理由	ボランティア団体の自主的な活動をさらに推進するため、交付金による活動団体数を増加させていく。							
課題解決に向けて着手する取組事項	R04年度	町広報やホームページへの記事の掲載等により、制度の普及、啓発にいつそう努める。							
	R05年度	町広報やホームページへの記事の掲載等により、制度の普及、啓発にいつそう努める。							
R04年度改善事項	大磯町緑化の推進及び緑の保全に関する条例に基づき、いけがき設置、シンボルツリー、保存樹木奨励事業を行った。 ・いけがき1件 ・シンボルツリー4件 ・新規保存樹木登録2件、新規保存樹林登録1件								
記入日	令和5年3月20日								

予算事業名	森林病害虫等対策自主事業							事業番号	03 - 12 - 33		
細分事業名	松くい虫被害対策自主事業							シート作成日	令和4年8月18日		
予算科目	会計	01	款	08	項	04	目	02	事業	07	
								事業開始年度	昭和57年度		
							事業終了予定年度	—			
部等名				課等名				係名			
都市建設部				都市計画課				都市計画係			

計画 (Plan)	総合計画	P	柱	—							
			部門	—							
			大施策	—							
			中施策	—							
			施策目標	—							
	事業の概要	根拠法令・条例等		森林病害虫防除法							
		個別計画等		—							
		行政経営プラン 実施計画事業		実施番号	—			実施項目名	—		
		目的 (何のために)		優れた風致景観と防風等の機能を有している松の保全を図るため							
		対象 (誰を・何を)		松くい虫被害対策自主事業計画に基づいた松							
内容		松くい虫被害の予防対策として樹幹注入、松くい虫の駆除対策として特別伐採委託により実施する。									

実施 (Do)	執行体制		一部委託あり					
	事業費	直接事業費 (a)	単位	R01年度 (決算)	R02年度 (決算)	R03年度 (決算見込み)	R04年度 (予算)	
		財源内訳	国庫支出金	千円				
			県支出金					
			起債					
			その他					
			一般財源		1,640	1,364	3,115	2,516
		職員人数 (概算職員数)	人	0.18	0.16	0.19	0.40	
	人件費計 (b)	千円	1,060	1,654	1,121	2,360		
	総事業費 (a) + (b)	千円	2,700	3,018	4,236	4,876		
事業費内訳 (千円) R 04 年度		委託料 (特別伐倒) 2,480千円、苗木代36千円						
本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名			目標値			
		—			—			
指標値	指標名		単位	項目	R02年度 (決算)	R03年度 (決算見込)	R04年度 (予算)	R08年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	樹幹注入対象木の本数	本	—	210	210	210	210
	活動指標 (活動量)	樹幹注入対策の実施本数 (210本/6年ローテーション=35本)	本	計画値	0 (計画空白年)	43	53	16
				実績値	0	35	—	—
	成果指標 (達成度等)	松くい被害木特別伐倒実施本数	本	目標値	20本以下	20本以下	20本以下	15本以下
実績値				22本	87本	—	—	
達成率				▲2	▲67本	—	—	
定性的成果		—						

評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	② 廃止・休止による影響は小さいがある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	② 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	③ 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-① 今は受益者負担を求めているが、今後、負担の導入を検討する必要がある	
		過去の外部評価等における指摘事項	—		
	主な改善経過 (過去4年間)	国の制度改正等により、樹幹注入の実施方法が変更になり、町の負担が増加することが予測される。			
	課題	平成29年に、補助金の対象となる樹幹注入対象木の考え方が示されたことにより、補助金の対象となる松が減少するため、場所に応じた適切な防除方法や他の補助金の活用ができるか等検討を進める必要がある。			

改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	維持	R03年度	維持	R02年度	維持	R01年度	維持	
		理由	町内に残る貴重な松を今後も維持保全していくため、松枯れの防除等は引き続き事業を継続していく。							
	課題解決に向けて着手する取組事項	R04年度	国の制度改正に柔軟に対応し、確実な松くい虫防除を実施する。							
		R05年度	国の制度改正に柔軟に対応し、確実な松くい虫防除を実施する。							
	R04年度改善事項	松くい虫被害対策として、被害木伐倒及び樹幹注入を行った。 令和3年度に作成した第6次神奈川県松くい虫被害対策事業推進計画に伴い、引続き樹幹注入業務のローテーションや対象地の見直しを行った。								
	記入日	令和5年3月20日								